



2014年2月期第1四半期 決算説明会

2013.7.18

I 2014年2月期第1四半期 決算概況

※本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

売上高45,737百万円(前期比96.2%)、經常利益1,625百万円(前期比181.8%)

(金額単位:百万円)

	2013.2期 第1四半期		2014.2期 第1四半期			
	実績	構成比	実績	構成比	前期差	前期比
売上高	47,529	100.0%	45,737	100.0%	▲1,791	96.2%
売上総利益	25,926	54.5%	25,030	54.7%	▲895	96.5%
販管費	24,477	51.5%	24,165	52.8%	▲311	98.7%
営業利益	1,449	3.0%	865	1.9%	▲584	59.7%
經常利益	893	1.9%	1,625	3.6%	+731	181.8%
税前四半期純利益	530	1.1%	1,426	3.1%	+896	269.1%
四半期純利益	▲3	▲0.0%	509	1.1%	+513	—

● 特別利益 : 投資有価証券売却益440百万円計上

● 特別損失 : 固定資産除却損311百万円、投資有価証券評価損358百万円計上

単体：不採算事業の撤退により減収増益 / 子会社：売上高、経常利益増

(金額単位：百万円)

	2013.2期 第1四半期実績				2014.2期 第1四半期実績						
	単体	子会社	消去・ その他	合計	単体	前期比	子会社	前期比	消去・ その他	合計	前期比
売上高	6,653	16,262	▲2,388	20,528	5,094	76.6%	17,088	105.1%	▲1,818	20,365	99.2%
売上総利益	2,679	8,115	▲175	10,620	1,918	71.6%	8,622	106.2%	4	10,545	99.3%
売上総利益率	40.3%	49.9%		51.7%	37.7%	▲2.6pt	50.5%	+0.6pt		51.8%	+0.0pt
販管費	4,171	6,323	103	10,598	3,008	72.1%	7,168	113.4%	352	10,529	99.3%
販管費率	62.7%	38.9%		51.6%	59.0%	▲3.6pt	42.0%	+3.1pt		51.7%	+0.1pt
営業利益	▲1,492	1,791	▲278	21	▲1,089	—	1,453	81.1%	▲348	15	72.7%
経常利益	▲1,781	1,560	▲388	▲608	▲792	—	1,838	117.8%	▲408	637	—
税前四半期純利益	▲2,070	1,492	▲378	▲956	▲1,070	—	2,066	138.4%	▲630	365	—
四半期純利益	▲2,045	885	▲483	▲1,643	▲529	—	1,340	151.4%	▲805	5	—

- 単体 : 既存店売上高は前期比98.2%と概ね前年並みに推移
→ 不採算店舗の撤退により売上高は減収となるが、営業損失は縮小
- 子会社 : 売上高は前期比105.1%の増収、経常利益は前期差277百万円の増益

一部子会社の非連結化により減収減益

(金額単位:百万円)

	2013.2期 第1四半期実績			2014.2期 第1四半期実績					
	単体他	KSJ*	合計	単体他	前期比	KSJ	合計	前期差	前期比
売上高	25,484	1,542	27,027	25,353	99.5%	—	25,353	▲1,673	93.8%
売上総利益	14,267	1,043	15,310	14,442	101.2%	—	14,442	▲868	94.3%
売上総利益率	56.0%	67.6%	56.6%	57.0%	+1.0pt	—	57.0%		+0.3pt
販管費	13,029	774	13,803	13,437	103.1%	—	13,437	▲366	97.3%
販管费率	51.1%	50.2%	51.1%	53.0%	+1.9pt	—	53.0%		+1.9pt
営業利益	1,237	269	1,506	1,004	81.2%	—	1,004	▲502	66.7%
経常利益	1,347	256	1,603	1,193	88.6%	—	1,193	▲410	74.4%
税前三半期純利益	1,332	256	1,588	1,345	101.0%	—	1,345	▲242	84.7%
四半期純利益	1,548	147	1,696	811	52.4%	—	811	▲884	47.8%

*KSJ(株)ケイト・スペード ジャパン)は2012年11月以降連結対象外となったため、その影響を除いた表記を追加

- 売上高 : 国内直営既存店が前期比98.0% → 前期比99.5%の微減
- 売上総利益率 : 売上総利益率の高いブランドが好調に推移し上昇
- 営業利益 : 新規事業の販管費増加等により減益

上位6ブランドが増収

(金額単位:百万円)

ブランド名		2013.2期 第1四半期実績	2014.2期 第1四半期実績	構成比	前期比
1 NATURAL BEAUTY BASIC	●	4,432	4,772	10.4%	107.7%
2 nano・universe	●	4,084	4,618	10.1%	113.1%
3 MARGARET HOWELL	●	2,175	2,596	5.7%	119.4%
4 ROSE BUD	●	2,263	2,410	5.3%	106.5%
5 Apuweiser-riche	●	1,645	2,031	4.4%	123.4%
6 PEARLY GATES	●	1,474	1,817	4.0%	123.3%
7 HUMAN WOMAN	●	1,560	1,495	3.3%	95.8%
8 PROPORTION BODY DRESSING	●	1,364	1,350	3.0%	98.9%
9 & by P&D	●	1,480	1,336	2.9%	90.3%
10 FREE'S SHOP	●	1,638	1,266	2.8%	77.3%
その他		25,409	22,041	48.2%	86.7%
合計		47,529	45,737	100.0%	96.2%

*ROSE BUDの売上高は、(株)ローズバッドと(株)エレファントの連結売上高

*従前サンエー・インターナショナルグループのアウトレット売上はその他に一括で計上していたが、今期から前年当年とも各ブランド売上に計上

● 東京スタイルグループ

● サンエー・インターナショナルグループ

Ⅱ TSIホールディングス2015年度中期経営計画の進捗状況

聖域なき構造改革から再成長の実現へ

中期経営計画の骨子	重点方針	具体的施策
<p>(1) コスト構造改革 → 総仕上げの局面に突入</p>	<p>既存事業の高収益化と グループメリットを活かした 効率経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・MD、生産改革による粗利率の改善 ・低収益店舗、ブランドのスクラップの推進
<p>(2) 収益力拡大 → 最適な収益構造を追及</p>	<p>営業利益50億円に向け た利益重視の事業政策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業開発 ・ECチャネルの拡大 ・海外チャネルの拡大 ・資産の有効活用
<p>(3) グループ経営力の強化</p>	<p>グループ再編によるシナ ジー創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ組織体制の構築 ・生産子会社の統合

Ⅲ 補足資料

(金額単位:百万円)

販路別	2014.2期通期計						
	東京スタイルグループ		サンエー・インターナショナルグループ		その他・消去	連結	
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比
百貨店	6,923	34.0%	7,303	28.8%	—	14,226	31.1%
非百貨店※1	7,017	34.5%	14,140	55.8%	—	21,158	46.3%
EC	2,277	11.2%	1,182	4.7%	—	3,459	7.6%
海外	1,692	8.3%	1,042	4.1%	—	2,735	6.0%
その他※2	2,454	12.1%	1,684	6.6%	18	4,157	9.1%
合計	20,365	100.0%	25,353	100.0%	18	45,737	100.0%

※1:非百貨店:ファッションビル、駅ビル、路面店、アウトレット等

※2:その他:卸や社販等のその他アパレル事業、グループ会社の非アパレル事業等

□本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。